

地域包括支援センターの認知症に対する取り組み

四倉・久之浜大久



地元医療機関と連携し、平成25年度より管内6つの小学校・中学校で、子供たちの認知症教室を開催している。将来、地域や家庭の一員として大きな役割を担う子供たちが、認知症について正しい知識をもち理解を深めることで、認知症になっても安心して生活できる地域作りの一助となることが期待される。そして、子供たちのみならず幅広い世代の方々が地域ぐるみで認知症高齢者を支える仕組みとして、四倉地区において平成27年9月に「四倉町徘徊SOSネットワーク」が発足し、平成28年度中の徘徊模擬訓練実施に向けた取り組みを行っている。

常磐・遠野



介護者同士の交流のため介護者のつどいを開催。お互いの悩みや葛藤について自由に話し合った中で、「同じ境遇で介護をしている立場を共感してもらい、日頃のストレス発散ができた。」「介護者は高齢者に対して笑って接することができれば、自然と高齢者も穏やかに過ごせる。」などの活発な意見交換できた。今後も介護者の為のストレス発散の場が欲しいとの意見が多数聞かれ、定期的に介護者が意見交換できる場を提供していく。

小名浜



若い世代に向けて認知症を知ってもらうため、高校生は平成25年度から認知症サポーター養成講座を受講し、自分たちに認知症の方へ何ができるか考え、学びを活かし幼児・小学生を対象とした紙芝居を作成した。今後、高齢者施設見学・利用者との交流を企画している。

その他このような取り組みも…

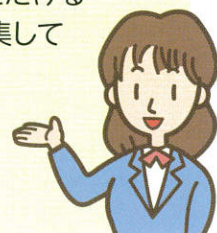
上記の他、各地域において認知症に関する様々な取り組みを行なっている。①認知症をきっかけとした権利侵害に関する権利擁護研修会への参加、②民生児童委員協議会や一般企業への認知症サポーター養成講座の実施、③医師・薬剤師・福祉関係者と協力し、市民を対象の「認知症在宅ケア講演会」開催など、その内容も多彩である。さらに地域住民の声をもち、④消費者被害や認知症の理解に関する講座の企画・開催も行っている。



会員募集

当法人では活動にご理解とご賛同いただける会員(正会員・賛助会員・協力会員)を募集しております。

会員として地域福祉に関するご意見・ご提案をお寄せください。詳しくは法人事務局(☎68-7612)まで!



お知らせ

現在地域包括支援センターでは保健師・看護師・精神保健福祉士・社会福祉士を募集しています。応募希望の方は、履歴書を郵送するか、事務局へご持参ください。

▶NPO法人地域福祉ネットワークいわき事務局
〒970-8026 福島県いわき市平字菱川町1番地の3 (いわき市社会福祉センター3階)

NPO法人 地域福祉ネットワークいわき

2016
第14号
[yui]

あなたを包む
優しい光になりたい…

「NPO法人地域福祉ネットワークいわき」は、高齢者や障がい者をはじめとした誰もが自らの意志により、どこでどのように暮らすか(暮らしたいか)を決め、実践することのできる地域社会の実現を目指してまいります。私たちの組織は平成19年よりいわき市の地域包括支援センター業務を運営しております。

発行：NPO法人 地域福祉ネットワークいわき
編集：NPO法人 地域福祉ネットワークいわき広報委員会
〒970-8026 福島県いわき市平字菱川町1番地の3 (いわき市社会福祉センター3階)

TEL.0246-68-7612 FAX.0246-21-7618

✉ yui@npo-fukushinewaki.com
🌐 http://npo-fukushinewaki.com/

ご感想は
こちらまで



小川町上平地区見守り隊 なぎの木会 秋バラ鑑賞会

勿来町窪田コスモス会 お花見会

理事長あいさつ



理事長
鎌田 真理子

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。昨年は「いわき市地域包括ケア推進会議」が設置され、高齢者の地域生活を維持継続できるよう医療・介護・予防・住まい・生活支援の一体的な「地域包括ケアシステム」構築の検討が始動しました。今年もこのシステム構築において「いわき市地域包括支援センター」は中核的役割を担っています。

地域課題の発見・ネットワークの構築・個別課題解決機能づくりのための「個別ケア会議」や「小地域ケア会議」を主催し、各地区保健福祉センター開催の「中地域ケア会議」や「いわき市地域包括ケア推進会議」への協力を通じ、地域包括支援センター業務の更なる充実を果たして参ります。

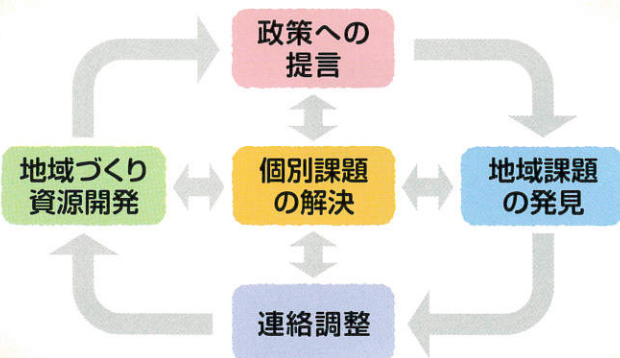
地域ケア会議とは…

いわき市の地域ケア会議の基本目標は、(中略)「医療・介護・生活支援の連携により、要介護状態となっても高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができる体制をつくること」及び、「介護予防の推進により、高齢者の健康寿命の延伸を図ること」とし、これらの目標の達成に向けた協議を行うものである。

— いわき市地域ケア会議開催要領より抜粋

地域ケア会議の5つの役割

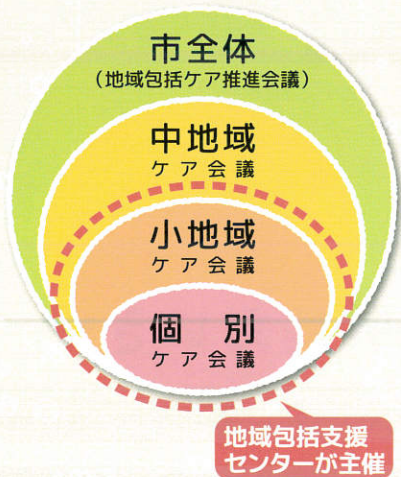
- 個人の方への支援を様々な方が集まり一緒に考えます
- 地域の皆さんが集まってネットワークを作ります
- 地域の良いところ、心配なところを確認します
- 地域の活性化に向けた取り組みを一緒に考えます
- 地域で心配なことの解決が難しい場合は、いわき市に提言を行います



4つの地域ケア会議

いわき市では地域ケア会議を4段階で考えており、それぞれネットワーク構築などの機能を期待しています。

- 個別ケア会議**…個人の課題を解決
- 小地域ケア会議**…個別の課題から見た地域の課題を解決
- 中地域ケア会議**…各地域で挙げられた課題解決や資源開発について各地区保健福祉センターの主催開催
- 地域包括ケア推進会議**…中地域で検討されたもののうち特に政策提言が必要と思われるものについて検討



～人と人が繋がることのできる仕組みづくり～

消費者被害

息子からの相談

▶82歳女性、一人暮らし。月1回訪問しているが最近物忘れが増えた。お金がないといつも言うようになり、先日は健康食品が大量に届けられていた。通帳を見ると毎月数万円のローンが組まれていたようだがどうしたらよいか。

認知症

娘からの相談

▶70歳女性。娘と二人暮らし。2年前から物忘れが見られる。最近出かける時帰って来ず、警察に捜索依頼したこともあった。アルツハイマー型認知症と診断を受けたがこれからどうしたらよいか。

老老介護

ケアマネジャーから相談

▶夫80歳、妻78歳の二人暮らし。認知症の妻の介護を夫がしてきたが、その夫も物忘れが出てきた。夫は自分で見ていく気持ちが強いがこのままでは共倒れになってしまう。週一回のデイサービス以外介護保険サービスを拒否しているがどうしたらよいか。

一人暮らし高齢者

近隣からの相談

▶91歳男性。一人暮らし。娘は県外に在住。ヘルパーとデイサービスを利用しているようだが、訪問したら薬が溜まっていて健康面も心配。緊急時どうすればいいのかわからず、今後どのように関わっていけばよいか。

地域ケア会議における地域包括支援センターの役割

個別ケア会議の開催

地域に住んでいる高齢者が抱えている課題の解決が難しい場合、様々な職種や団体が集まり、課題の解決に向けて話し合います。

地域ネットワークづくり

個別ケア会議から小地域ケア会議へ

個別ケア会議で検討した課題と関連させて、住んでいる地域に足りないものはないか、どのように関われば住み良いのか等を、地区の関係者を交えて話し合います。

結果

夫は昔からの友人の勧めで病院受診し認知症と診断され服薬を開始。ヘルパーが来ることに納得し、介護保険サービスが増え二人で生活を続けられるようになった。

結果

金銭は息子が管理するようになり、ローンも解約できた。介護保険サービスを利用し、民生児童委員の訪問もあり、現在は自宅で安心して生活している。

結果

ヘルパーにより薬の整理と内服の確認をして貰う事になった。娘が近隣住民に連絡先を伝え関わりも増え、日頃から近所の声掛けもされるようになった。

みなさんの地域にある地域包括支援センター

番号はすべて直通です

- | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|---|--|
| 平
市役所本庁舎1階
TEL. 22-1174 | 小名浜
小名浜支所北分庁舎
TEL. 53-4760 | 勿来・田人
勿来支所内
TEL. 63-2140 | 常磐・遠野
常磐支所内
TEL. 43-2151 | 内郷・好間・三和
総合保健福祉センター2階
TEL. 27-8660 | 四倉・久之浜大久
四倉支所内
TEL. 32-2115 | 小川・川前
小川支所内
TEL. 83-1411 |
|---|--|--|--|--|---|--|